名古屋鉄道株式会社 第 68 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）レポーティング（2026 年 3 月末）

1．資金充当レポーティング

資金の充当状況は、以下の通りです。

調達資金	10,000 百万円
充当した資金の額	10,000 百万円
未充当資金の額	―

※調達資金のうちリファイナンスの割合：30.9%

2．インパクト・レポーティング

適格事業による環境・社会への効果は、以下の通りです。

▷ グリーン適格クライテリア

適格プロジェクト	環境改善効果	SDGs への貢献
① 新型車両 9500 系・9100 系の導入 	・資金使途となった車両の概要はこちらをご覧ください。 ・資金使途となった車両の投入数（累計）： 9500 系 ： 28 両 9100 系 ： 8 両 ・想定 CO_2排出量削減効果※1：3,173t-CO_2/年	
② 駅や保有施設の照明の LED 化 	・資金使途となった LED 照明の設置数（累計）： 4,459 本 ・想定 CO_2排出量削減効果※2：546t-CO_2/年	
③ エッジデータセンターの建設※3 	・pPUE の設計値：1.3 ・電力使用量※4： ⑴ラック電力使用量： 295,867 kWh （2025 年度実績） ⑵空調電力使用量 ： 95,843 kWh （2025 年度実績）	

※1 従来車両との比較。車両原単位(車両 1 両が 1 km 走行するのに必要な電力消費量)や年間走行キロ等を基にした推計値。

※2 計画値を基にした推計値。

※3 当社グループ会社、メイテツコムが運営するエッジデータセンターの概要はこちら。

※4 エッジデータセンター内、サーバ室の電力使用量。

▷ ソーシャル適格クライテリア

適格プロジェクト	社会的成果			SDGs への貢献
	＜アウトプット＞	＜アウトカム＞	＜インパクト＞	
④ 東岡崎駅再開発計画の推進 	・整備した施設の概要※5： ≪東岡崎駅（北口・南口）再開発計画について≫ ≪東岡崎駅北口地区第一種市街地再開発事業の認可について≫ ≪東岡崎駅一体開発計画「SWING HIGAOKA」 4 月 25 日、第一弾商業施設「SWING MALL」を南口に開業します≫	・東岡崎駅の一日平均乗降人員：34,905 人（2025 年度実績） ・「CentX」の乗換案内において東岡崎駅を降車駅とする検索件数：100,818 件（2025 年度実績）	駅周辺エリアの活性化と地域価値向上	
⑤ 布袋駅における高架下開発 	・整備した施設の概要※5： ≪10 月 23 日布袋駅に木の香り溢れる商業施設「MOKU KICHI」が OPEN！≫	・布袋駅の一日平均乗降人員：9,484 人（2025 年度実績） ・「CentX」の乗換案内において布袋駅を降車駅とする検索件数：24,742 件（2025 年度実績）		
⑥ エリア版 MaaS アプリ「CentX」機能強化 CentX	・エリア版 MaaS 機能強化の概要※5： ≪「CentX」にウォーキング機能「エリア de ふらっとウォーク」が新登場≫ ≪「CentX」が「EX サービス」との連携を開始するとともに、マイ駅・マイバス停機能のさらなる拡充を行います≫	・累計ダウンロード数：1,404 千 DL（2025 年度実績）	生活に根差したサービス、観光施設との連携による沿線・地域の活性化	

※5 当該プロジェクトに係るニュースリリースの URL を記載。